

国語科単元構想シート

単元名「Z校のみりよくを伝える新聞を作ろう！」 全10時間
 教材名「新聞を作ろう（光村図書 4年上）」

単元目標 (単元で育成を目指す 資質・能力) ◎…指導の重点	○比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うことができる。 [知識及び技能] (2)イ	評価規準		
	◎相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 [思考力、判断力、表現力等] B(1)ア ○書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。 [思考力、判断力、表現力等] B(1)イ ○言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」	知識・技能 比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解している。 ((2)イ)	思考・判断・表現 ①「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ②「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。(B(1)イ)	主体的に学習に取り組む態度 進んで、相手や目的を意識して、経験したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にし、見直しをもってZ校の魅力を伝える新聞を作ろうとしている。

言語活動 Z校の魅力を伝えるために、情報を収集・整理して記事を書き、X校の4年生が読みたくなる新聞をつくる。	自ら進んで言葉による見方・考え方を働かせている児童の姿 ・自分が一番伝えたいZ校の魅力を伝えるために、学校生活を想起しながら魅力を書いている。 ・Z校の魅力について同じグループの友達と交流しながら一番伝えたい内容を選んでる。
---	--

単元の流れ	「読み解く力」の視点を踏まえた、児童の学ぶ姿		指導の手立て ★児童が主体となるための重点的な手立て
① 指導者が作成した新聞を見て、新聞の内容や特徴を捉え、学習の見直しをもつ。 ② グループごとに新聞のテーマや内容を話し合う。 ③ 新聞の制作過程とアンケートの取り方を学ぶ。 ★ ④～⑦グループごとに学習計画を立て、学習する。 ・記事を書くための情報を集める。 ・割り付けを考え、相手にわかりやすく伝わる記事を書く。 ⑧ 読みたくなる記事の見出しを考える。 ⑨ グループで記事を読み直し、X校の4年生が読みたくなるような文章になるように話し合い、記事を加筆・修正する。 ⑩ 学習を振り返る。 作成した新聞をX校へ送り、感想をもらう。	A 主に文章や図、グラフから読み解き理解する力	B 主に他者とのやりとりから読み解き理解する力	★言語活動を「Z校の魅力を伝える新聞」にすることで、児童が、目的意識や相手意識を明確にできるようにする。 ・教室内に新聞コーナーを設け、様々な種類の新聞を置くことで、児童が新聞に興味をもつことができるようにする。 ★グループで新聞の作成を行う中で、記事や見出しについてグループの友達と話し合いながら学習を進められるようにする。 ・1人1台端末を用いて情報を収集したり、作業内容をグループで共有したりできるようにする。 ★振り返りの際は、学習課題をどの程度達成できたかを児童が自覚できるように振り返りの視点を示し、次の学習につなげられるようにする。
	必要な情報を確かに取り出す【①発見・蓄積】 指導者のモデルや実際の新聞から、見出しや記事、図、絵、写真などにわかりやすく伝えるための工夫を見つけている。	Z校の魅力を伝えるための情報について、インタビューやアンケート調査などを用いて情報を収集している。	
	情報を比較し、関連付けて整理する【②分析・整理】		
	収集した情報を、伝えたいことに合わせて取捨選択し、記事に書く情報を選んでいる。	自分と友達の情報を比較し、自分が一番伝えたいZ校の魅力を決めて記事にしている。	
	自分なりに解決し、知識を再構築する【③再構築】		
	記事の内容を基にして、読者が読みたくなる記事の見出しを考えている。	グループ交流を通して、見出しに用いる言葉を見直し、よりよいものになっている。	